



税に関する中学生の作文

公益社団法人府中法人会 会長賞

府中市立第一中学校 3年 瀬戸山 承弥

「少子高齢化社会について」

僕は、税金についてあまり深く知りません。しかし、母に今回税金の事を少しでも教えてもらうようにしました。税金はどのように使われているのだろうか。そして、どのように集めているのだろうか。

例えば、少子化の問題です。政府は、日本国民が一人でも多く存在することを希望しています。しかしながら、今は昔みたいに人口が少ないので少しでも住みやすい環境で生活できるスタイルをとらないとなかなかこの問題が解決しないと思います。

僕の兄弟は、五人兄弟です。一般的に一家に五人と言うとかなり厳しい状況です。母は、「五人もいたら大変よ。もっと、いろんな制度を対応してもらわないとやっていけないわ。」と、口ぐせのように言います。

以前、僕の住む府中市の市長さんより少子化について働く女性、その他にたくさんの子供がいる世帯向けに、対談をするという企画をしてくださいました。その時、僕の母は五人の子育てをしながら何か一つでもサポートしてくだされば府中市にもっと人口が増加するのではないかと提案しました。その他の方は、田舎に住んでいるのでバスやタクシーを使ってその運賃を助成してくれる制度を実行しているそうです。僕の家庭で一番かかるのは、食事代と医療費の問題です。医療費は、一ヶ月一人五〇〇円を最大四回までという多いにお財布にやさしいシステムを国は考えてくれていると思います。子供が小さいころは、いつも風邪をひいたりけがをしたり医療費がすごくかかるのでこういう対応をしてくだされば一人でも二人でも人口が増加し、そしてこれから住みやすく生活していくうえで安心して過ごせるのではないのでしょうか。

続いて高齢化問題についてです。ぼくの住んでいる町は高齢の方が多いです。敬老の日にお祝いをするお年寄りの方は、同じ世帯にお世話をしあげれば安心ですが、一人世帯だとどうしても、どこへ出かけるのもタクシーを利用したり人の力を借りないと生活していくことは困難です。これについてはタクシー券など手軽に利用できるシステムがありますが、自分で生活していく事が最も難しい場合の方に何かいい案を出していただきたいと思います。若い方と一緒に今の時代はなかなか生活していく人も少なくなり、老後の年金で生活するとなれば不安な世の中になってしまうので少しでも明るい社会で、そして一人でも多くの人口を増やし明るい未来に向けて税金を正しく使うという提案をだしてほしいと思います。

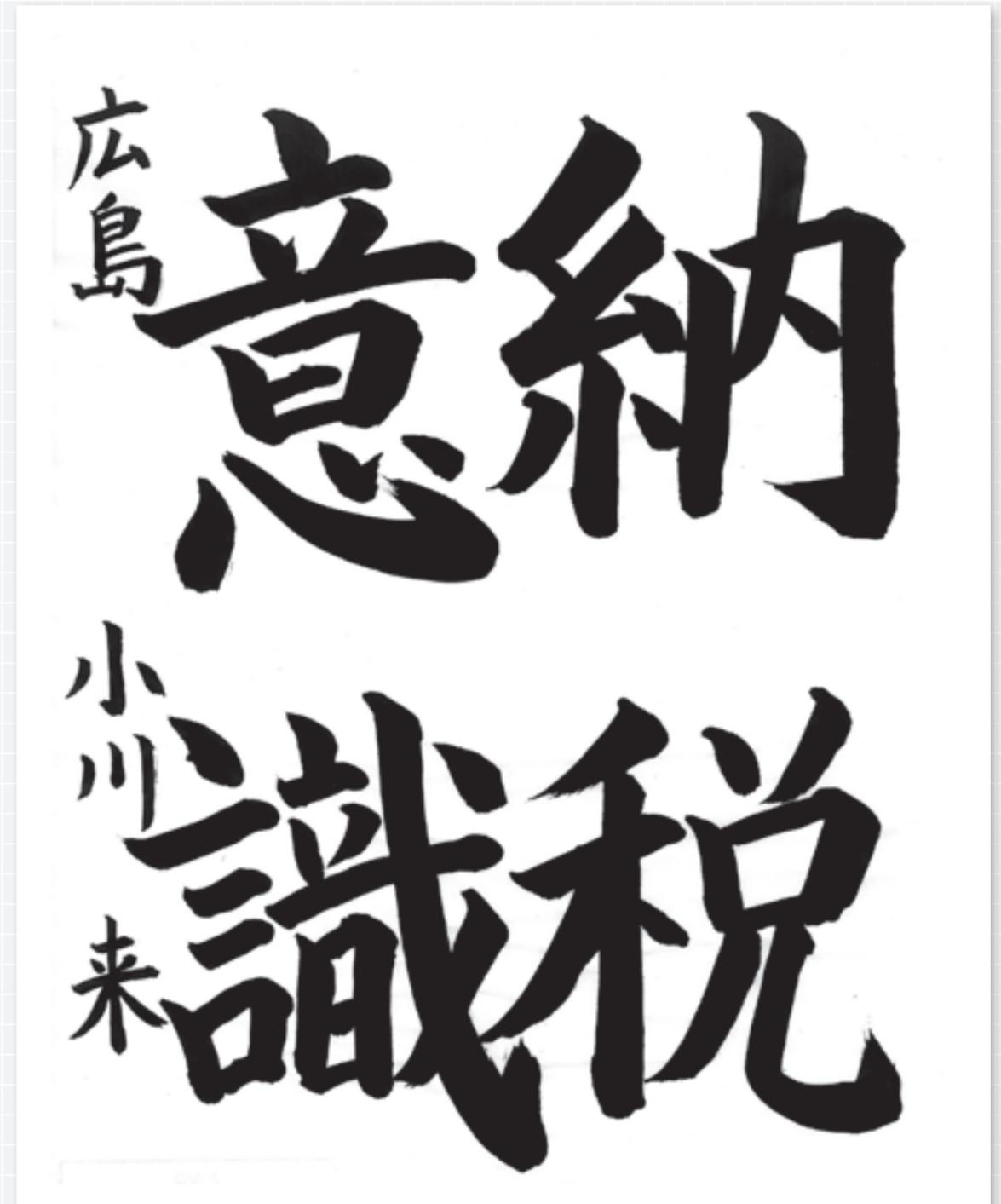


税に関する中学生の習字

公益社団法人府中法人会 会長賞

府中市立第一中学校 2年 小川 来

納税意識



税に関する 絵はがきコンクール



広島県法人会連合会 入選



賞

公益社団法人
府中法人会
会長賞

福山市立駅家西小学校 高橋 侑里



賞

公益社団法人
府中法人会
女性部会長賞

福山市立戸手小学校 岡井 茉心那



賞

府中管内納税貯蓄
組合連合会
会長賞

府中市立栗生小学校 金高 芽依



賞

府中
税務署長賞

福山市立駅家小学校 木曾 由貴奈



絵はがき審査会風景



賞

府中
商工会議所
会頭賞

府中市立栗生小学校 金倉 和花

広島県法人会連合会 入選



賞

府中中央
ライオンクラブ
会長賞

福山市立駅家東小学校 加戸 杏樹



賞

公益社団法人
府中法人会
青年部会長賞

福山市立戸手小学校 諏訪田 旬介



賞

府中
税務署管内
青色申告会連合会
会長賞

府中市立旭小学校 土井 七海



賞

府中市教育委員会
教育長賞

府中市立栗生小学校 倉田 瑠衣

広島県法人会連合会 入選



賞

府中地区租税
教育推進協議会
代表幹事賞

府中市立府中明郷学園 長本 唯楓



賞

府中
中間税会
会長賞

福山市立常金丸小学校 畑山 陽那乃



賞

中国税理士会
府中支部
支部長賞

福山市立駅家小学校 芝内 楓雅



賞

府中
ライオンクラブ
会長賞

府中市立旭小学校 下垣内 千尋



賞

審査員
特別賞

福山市立駅家西小学校 三藤 大雅

喜多流 大島能楽堂

能楽教室

府中市南小学校6年生 22名

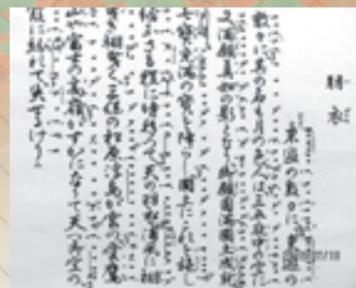
平成20年に「子供能楽体験会」として始めたこの事業は早や12年目を迎えております。

法人会女性部会は社会貢献事業として、将来を担う子供たちが日本の伝統文化に触れ、貴重な体験を味わってもらうことが、将来の糧となることと信じて行っています。

今年は、府中市立南小学校6年生22名の児童が能楽体験をしてくれました。

*能について

能は歌と舞と詩とが溶け合っ
て一つになった音楽劇で、オペラやミュージカルに近い存在です。能面と呼ばれる独特の面（おもて）を使う仮面劇でもあります。古くから伝わる伝説、源氏物語、伊勢物語などの文学作品、平家物語などから題材を得ています。



演題『羽衣』

「たづねの
心も思い
深い舞う」



8月26日（月）には福山市光南町の大島能楽堂を見学に行き、本物の檜舞台で稽古をして、雑巾掛けも体験しました。

いちごプロジェクト活動 (15%の節電)

8月3日(土)

真夏の雪祭りとして注目されている神石高原町のイベントは、今年は雪がなく、あわマルシェとして開催され女性部会神石高原支部が参加して、うちわを配りPRをしました。



税金クイズ

10月27日(日) TTCアリーナにて

府中税務団体連絡協議会として法人会青年部会が「第9回府中学びフェスタ」に参加して、子供たちを対象に「税金クイズ」を行い小・中学校の児童、生徒が多く参加してくれました。



広島国税局長 講演会

10月17日(木)

福山ニューキャッスルホテルにて

公益社団法人 尾道・三原・福山・府中法人会が共催し100名の会員が出席して、広島国税局長 榎原耕太郎氏に「税務の話あれこれ」の演題で、普段は聞けない話もお聞かせいただきました。

